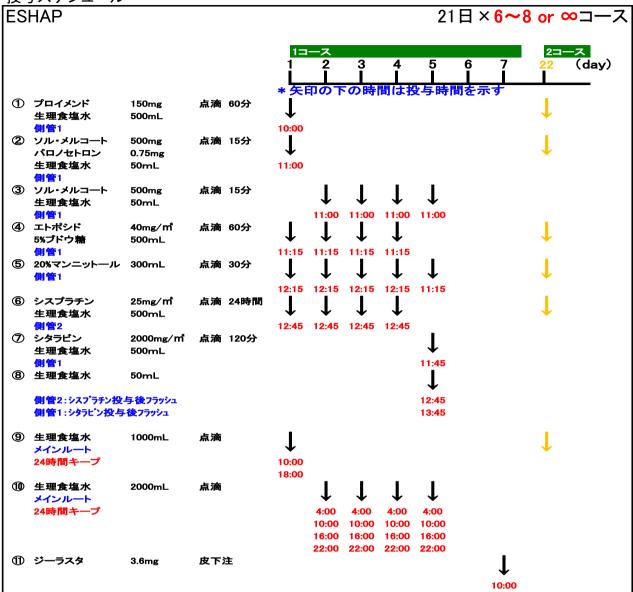
登録日 2015/12/3

腫瘍名 原発性中枢神経系悪性リンパ腫

登録番号 CNST006

申請科 脳神経外科

投与スケジュール



注意事項

- •B型肝炎再活性化の対策として必要な検査を随時検討する。
- ・PVCフリーの輸液セットを使用すること(型番JP-PBX8000FL)
- ・骨髄抑制予防として、G-CSF製剤のジーラスタをDay7に投与する。
- ・結膜炎予防として、シタラビン投与日から1週間フルメトロン点眼液0.1%を6時間ごとに点眼する。
- ・シタラビン投与で皮膚症状が出現した場合、ステロイド外用剤で対応する。
- ・電解質(Na、Mg、K、Pを含めた)、LDH、尿酸、血糖値を**投与前と投与後定期的に測定**し、 異常が見られた場合、腫瘍崩壊症や高Na血症を疑い対策を行う。
- ・臨床試験上の減量基準

好中球≦200/µL、血小板≦20000/µL:次回クールより、シタラビン:50%、エトポシド:20%減量する。 血清クレアチニン上昇時シスプラチンを下記の基準で減量

(1.5~2.0mg/dL:25%減量、2.1~3.0mg/dL:50%減量、≥3.0mg/dL:中止)

- ・尿量はシスプラチン投与後24時間ごとに確認。尿量2000mL未満でDr Call。
- ・側管2のシスプラチン投与時は輸液ポンプを使用する。側管1からの投与ルートも輸液ポンプ使用は可能。

参考文献

1) Velasquez WS *et al.* ESHAP-An effective chemotherapy regimen in refractory and relapsing lymphoma: A 4-year follow - up study, *J Clin Oncol*, **12,** 1169-76 (1994).

2) 日本血液学会, 造血器腫瘍診療ガイドライン2013年版